



出初式のはしご乗りを指導
吉田 知弘さん・57歳
三河町一丁目

鳶の伝統文化を引き継いでいきたい

新春恒例の出初式。その華ともいえるはしご乗り。吉田さんは出演する鳶の指導をしている。

「鳶は祖父の代からの家業です。私も大学卒業後に鳶となり、30代半ばまではしご乗りを演じてきました」

勇壮で長い伝統を誇る一方、そこには細心の注意と適切な体の使い方が求められる。

「八艘や遠見をはじめ、故事や鳶の歴史などがゆかりの多彩な技がありますが、その一つ一つにおろそかにできないポイントがあります。これを知っていると教えないといけません」

出初式が近づく中、熱を帯びた指導を続ける吉田さん。

前橋鳶工業組合の副支部長を務め、前橋まつりや初市まつりでは渡御の先達としても活躍している。

「伝えられてきた技や伝統を引き継いでいくことが、私の大切な役割の一つだと思っています」

出初式の当日は、演技を見守りながら、技の解説を行う。

「若い出演者たちは、昼間は仕事を頑張る、夜、練習に励んでいます。また、鳶の伝統文化を守ろうという意識を持って取り組んでいます。これらを踏まえ、演技を見ていただきたいですね」

そう話しながら練習を指導するまなざしは、真剣で温かった。

クローズアップ

昭和色に染まる空間

まちなかで12月5日から13日まで、前橋昭和博覧会が開催。2日からのプレイベントでは、現役絵師の映画看板も展示されました。昔の写真やジオラマ、ミニチュアなど、展示スペースは昭和の時代を思い出させる空間に。訪れた人は、懐かしいあの頃に思いをはせていました。



花燃ゆ感動の最終回迎える

12月13日に昨年1月から続いた大河ドラマ「花燃ゆ」が最終回を迎えました。これに合わせて、最終回の鑑賞会と次の大河ドラマ「真田丸」への引き継ぎ式を前橋テルサで開催。真田丸ゆかりの沼田市などと、のぼり旗や記念品を交換しボタンタッチしました。



外壁の「顔」が語り掛ける

アーツ前橋では、あかりプロジェクト「たてもものおしばい」を開催中。建物が擬人化され、壁面に映し出された「顔」が建物やまちなか周辺の変遷などを毎夜語り掛けます。点灯は1月12日(火)まで。表情とお話を目と耳で楽しんでみてください。

赤城の恵

ブランド



vol. 30



「ミツミファームのピーナッツバター」

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は「ミツミファームのピーナッツバター」を紹介しします。

■粕川産落花生を使用

落花生は粕川町込皆戸産のものを100％使用。生産から加工まで一貫して丁寧に仕上げられています。香料・保存料は一切使用せず、子どもからお年寄りまで安心して食べられます。

■自家焙煎でクリーミーに

自家焙煎で素材そのものの香りと味を楽しめます。バター塩



が落花生の甘さを引き立てているのも特徴。丁寧な練り込みは落花生の油分を最大限に生かしています。口だけは濃厚でとてもクリーミー。生産者のこだわりが生んだ本格的なピーナッツバターです。

■用途も豊富な一品

パンや菓子、料理など幅広く使用でき、味を引き立たせます。市内農産物直売所のほか、ぐんまフラワーパークなどで販売しています。

■健康・栄養

落花生には抗酸化作用のあるビタミンEやビタミンB群、ミネラルなどが含まれ、血中コレステロール低下作用が期待される不飽和脂肪酸のオレイン酸も含まれています。

■生産者からのメッセージ

とてもクリーミーなので、料理の隠し味やおやつなど、お気に入りの食べ方を見つけてみるのも楽しいですよ。

問い合わせは ミツミファーム
027-230-6700